

# 令和 6 年度 実施計画調書

担当部	産業振興部
担当課	アグリサイエンスバレー整備課

施策の大綱	産業振興	関連する主な重点施策
施策分野	アグリサイエンスバレー・道の駅常総	道の駅を活用した農商工連携

事業名	デジタル観光・周遊事業	予算科目	一般会計	7	款	1	項	3	目
-----	-------------	------	------	---	---	---	---	---	---

## 事業概要

### ①目的（目標設定と最終的に何につながるのか）

本事業は、道の駅常総及びアグリサイエンスバレー常総への集客効果を地域へ波及させるため、デジタル技術を活用した周遊事業を行い、関係人口等の増加を通して、地域の観光地化及び地域経済の活性化につなげることを目的とする。

### ②現状（今、どのような状況・課題で、なぜこの事業が必要なのか）

常総市観光入込客数は令和2年度には約24万人であったが、令和5年4月に道の駅常総が開業したことにより、7月時点の道の駅への来場者数が約50万人となるなど来訪者は大幅に増加している。しかし、道の駅以外の市内への来訪者数は微増となっており、市内全域への効果は低い状況にある。そのため、道の駅の集客効果のあるこの機会に周遊施策を実施することが必須となる。

### ③対象（誰を・何を対象にするのか）

主に市外からの来訪者を対象とするが、市民に対しても市の魅力を知っていただき、地域内経済の活性化及びシビックプライドの醸成に寄与するものとする。

### ④手段（どのような活動・取組みを行うのか、なぜその方法なのか）

スマートフォン向けの地域周遊情報を、webサイト、アプリ等により利用者へ提供し、地域周遊拠点となる道の駅及びアグリサイエンスバレー常総への誘客、地域内周遊先への送客、また、再訪していただく取組みをデジタル技術を通して取り組むものとする。この手段の採用理由については、来訪前や来訪中の情報収集等において、スマートフォン利用が多いことなど、昨今の観光DX化に対応させるためとなる。

成果指標					
指標名					単位
観光入込客数					人
現在値		目標値			最終目標値
令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度		
1,240,000	1,488,000	1,736,000	1,984,000	2,232,000	

令和6年度	事業内容	令和7年度	事業内容	令和8年度	事業内容
	デジタル観光マップ企画・開発（年間4回） 周遊イベント企画・開発（年間4回） 広告宣伝（1年単位） 人流解析（年間4回） 保守点検（1年単位） （経費） システム企画・カスタマイズ 10,000千円 保守点検費 7,000千円 設備機器利用料 1,000千円		デジタル観光マップ企画・開発（年間4回） 周遊イベント企画・開発（年間4回） 広告宣伝（1年単位） 人流解析（年間4回） 保守点検（1年単位） （経費） システム企画・カスタマイズ 10,000千円 保守点検費 7,000千円 設備機器利用料 1,000千円		デジタル観光マップ企画・開発（年間4回） 周遊イベント企画・開発（年間4回） 広告宣伝（1年単位） 人流解析（年間4回） 保守点検（1年単位） （経費） システム企画・カスタマイズ 10,000千円 保守点検費 7,000千円 設備機器利用料 1,000千円
予算額	18,000千円	予算額	18,000千円	予算額	18,000千円
特定財源	18,000千円	特定財源	18,000千円	特定財源	18,000千円
一般財源	0千円	一般財源	0千円	一般財源	0千円

財源	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> 事業の削減・見直し	<input checked="" type="checkbox"/> その他
	デジタル田園都市国家構想交付金 申請予定（対象経費 最大5割補助） 広告収入（内訳：10万円（2年目から20万円）×10社×12月－20%）		
他との連携	<input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と連携できる可能性がある（他課含む）	<input type="checkbox"/> 関連施策なし	
	↳ 事業名（ じょうそう観光地域づくり事業 商工観光課 茨城DC事業 ） 連携内容について簡易に記述してください 周遊案内するコンテンツとして連携の可能性がります。		